

平成30年度

# 当初予算

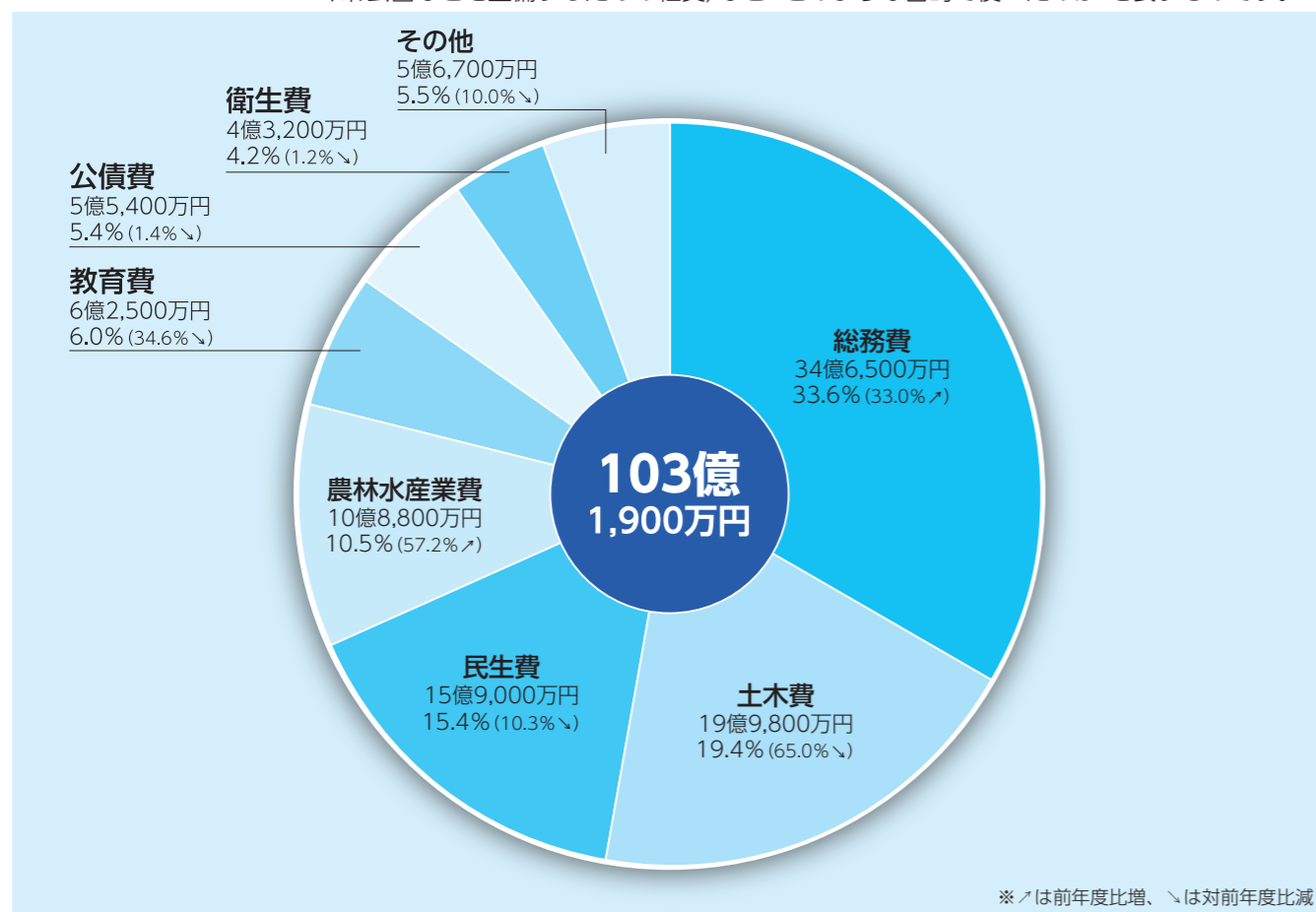
～復興事業の完遂と  
さらなる発展に向けて～

一般会計予算 **103億1,900万円** 対前年度 **△22.8%**

## 歳出(目的別)

目的別とは…

役場の仕事を総務費(庁舎や財産の維持管理、税金の徴収などの経費)や土木費(道路や河川、公園などを整備するための経費)など“どのような目的で使ったのか”を表すものです。



## 用語解説(歳出)

- 総務費** 庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などの経費
- 土木費** 道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費
- 民生費** 子育て支援や高齢者に対する福祉などの経費
- 農林水産業費** 農林水産業の振興を図るための支援や生産基盤整備などの経費
- 教育費** 学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費
- 公債費** 町債の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費
- 衛生費** 環境保全、疾病予防、健康増進などの経費
- その他** 議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費など

## 予算編成方針の概略

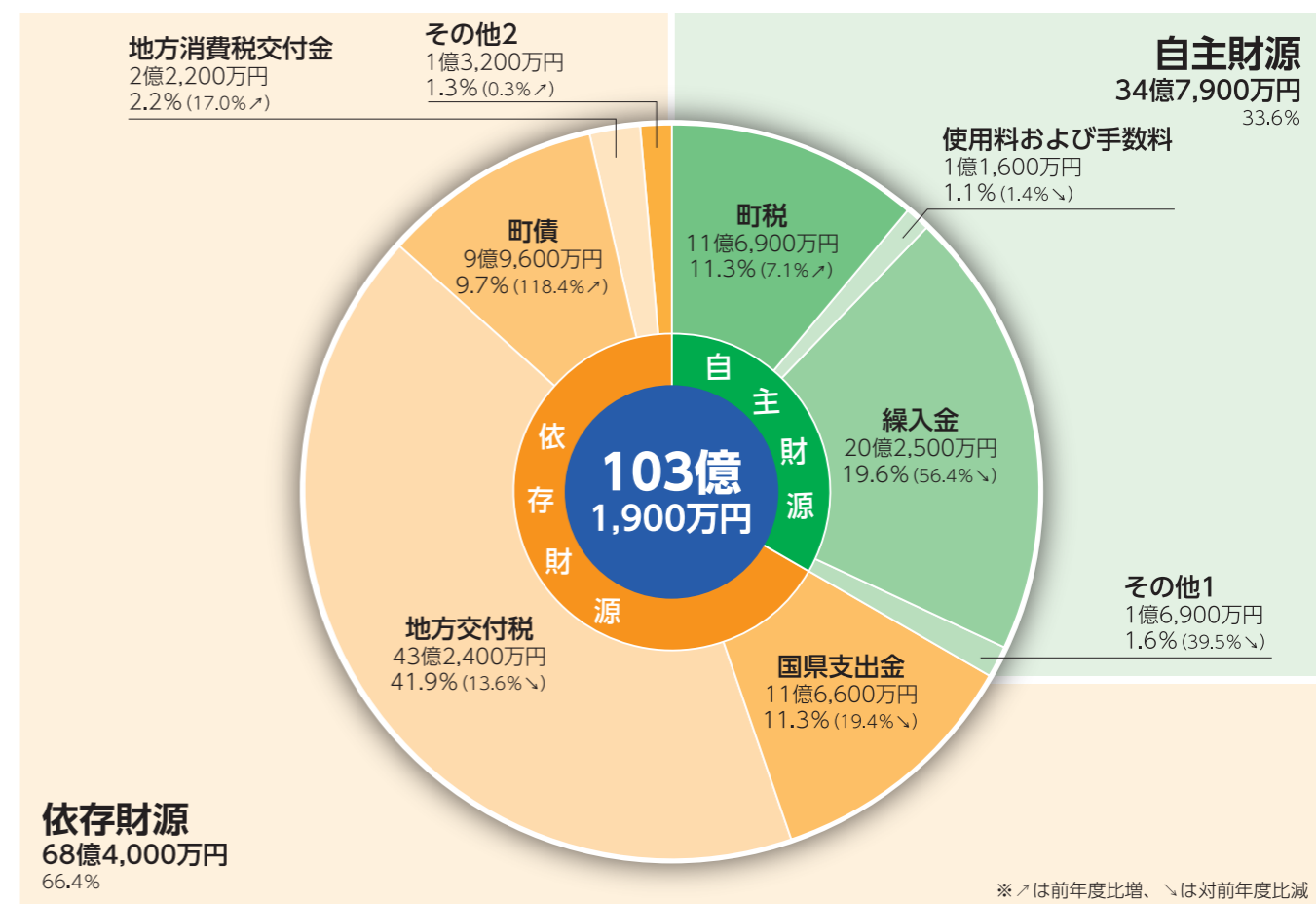
平成30年度各種会計予算が、平成30年第1回山元町議会定例会で可決されました。

平成30年度当初予算は、骨格予算として予算編成を行っており、人件費や管理経費などの義務的経費のほか、速やかな事業執行が不可欠な復興・創生関連事業に関する経費、住民生活への影響が大きい政策的経費に限って計上しており、住民生活や町の復興・再生に支障がでないよう配慮した予算編成となっています。

一般会計予算は、前年度予算と比較し、30億4,600万円減(22.8%減)の103億1,900万円です。これは、山下・坂元両地区の防災拠点・地域交流センター建設事業が完了したことなどから前年度比では減となっています。

なお、復興・創生関連事業は、約45億円で予算全体の44%を占めており、役場庁舎新築復旧事業、交流拠点施設整備事業などの投資的な事業を中心に予算措置しています。その他の主な事業については21ページに記載のとおりです。

## 歳入



## 用語解説(歳入)

- 自主財源** 町民税や固定資産税など、納税者の皆さんが町に納めるお金
- 町税** 町民税や固定資産税など、納税者の皆さんが町に納めるお金
- 使用料および手数料** 町営住宅の家賃や住民票交付手数料など
- 繰入金** 主に基金などを取り崩して財源に充てるためのお金
- その他1** 保育料などの負担金や寄付金など
- 依存財源** 各種事業費用に充てるため、国と県から交付される補助金など
- 国県支出金** 各種事業費用に充てるため、国と県から交付される補助金など
- 地方交付税** 全国どの市町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるように、所得税などの国税の一定割合を財源として国が交付するお金
- 町債** 道路や施設整備の財源に充てられる借入金
- 地方消費税交付金** 地方消費税の一部を財源として、県が人口などにより按分し、町に交付するお金
- その他2** 道路特定財源である自動車取得税交付金やゴルフ場利用税交付金など

## 歳出の解説

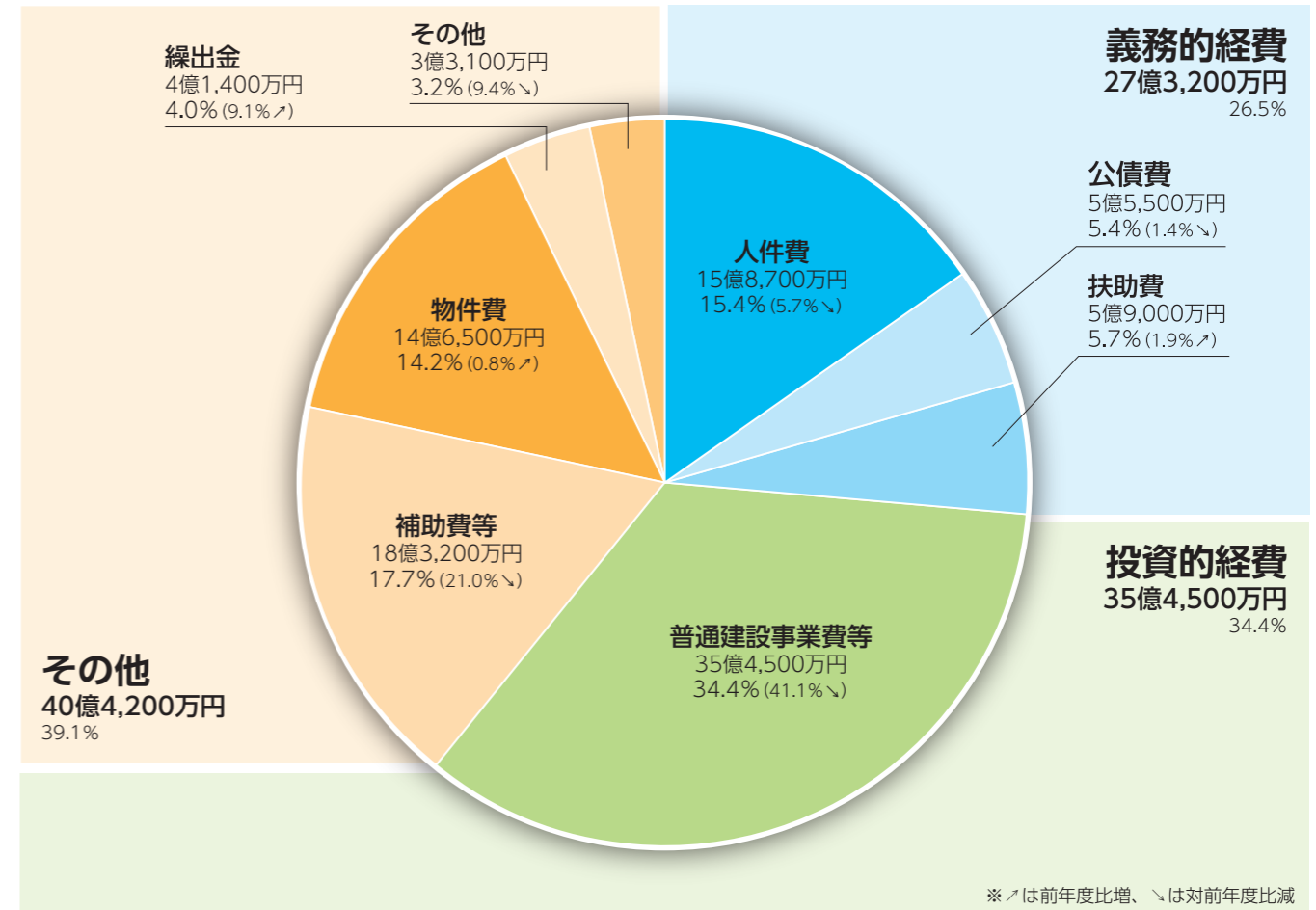
- 総務費** 他市町村などから受け入れる派遣職員に要する経費に加え、町民バスやデマンドタクシーを運行するための経費、役場庁舎新築復旧事業など  
(前年度比 8億6,000万円増、33.0%増)
- 民生費** 小・中学生、高校生の外来・入院分の医療費無料化のための「子ども医療費助成事業」や今年度も支援策を拡充した「出会い子育て応援事業」に係る経費のほか、高齢者福祉事業や障害者の自立支援および介護予防支援事業の推進経費など  
(前年度比 1億8,200万円減、10.3%減)
- 衛生費** 歩くことを通じて世代間の交流や健康づくりに取り組む「元気やまもとウォーキング事業」や妊婦健診、がん検診など各種検診の強化に取り組む経費、地域の拠点病院である宮城病院との連携強化に要する経費など生活環境改善関連経費(前年度比 500万円減、1.2%減)
- 労働費** シルバー人材センター運営支援経費など  
(前年度比 100万円減、5.4%減)
- 農林水産業費** 農地や農業用施設の復興・創生関連経費や交流拠点施設建設に要する経費などを計上しているほか、農水産業者と加工・流通業者の連携を進めるための6次産業化に要する経費など  
(前年度比 3億9,600万円増、57.2%増)

- 商工費** ふれあい産業祭などの商工業振興経費、町内中小企業者の運転資金などの融資斡旋、企業誘致に関する経費、町の観光・物産などのPR活動を通じて、交流人口の拡大や地域産業の活性化を推進するための経費  
(前年度比 2,300万円増、24.7%増)
- 土木費** 被災者の生活再建を後押しするための津波被災住宅再建支援に要する経費や避難路整備事業などの都市基盤整備に要する経費  
(前年度比 37億1,200万円減、65.0%減)
- 消防費** 予期せぬ災害に適切に対処し、町民生活の安全確保を図るための消防・防災対策に係る経費など  
(前年度比 3,000万円減、10.2%減)
- 教育費** 被災児童生徒に対する各種助成経費、学校給食運営経費、教材などの整備経費や家庭教育、学校教育支援に係る経費、旧中浜小学校遺構保存に係る経費など  
(前年比 3億3,100万円減、34.6%減)
- 災害復旧費** 農業用施設災害復旧に要する経費など(前年度比 1,300万円減、54.3%減)
- 公債費** 過去に発行した地方債の償還元金・利子など(前年度比 800万円減、1.4%減)

## 一般会計予算(性質別)

性質別とは…

役場の仕事を人件費(職員の給料や手当などに係る経費)や公債費(町が発行した借金の元金や利子に係る経費)など“どのような用途で使ったのか”を表すものです。



## 平成30年度の主な事業と予算額

総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費
役場庁舎新築復旧事業 14億4,800万円	子ども医療費助成事業 4,100万円	予防接種事業 3,500万円	山元町シルバー人材センター支援事業 400万円	交流拠点施設整備事業 3億9,700万円
【新規】総合計画策定事業 900万円	被災コミュニティ再生支援事業 3,200万円	宮城病院との連携支援事業 900万円		沿岸部の農地整備事業 1億9,700万円
(拡充) 町民バス等運行事業 6,000万円	出会い子育て・応援事業 500万円	元気やまもと健康づくりウォーキング事業 500万円		漁業集落防災機能強化事業 1億800万円
	(拡充) 一時預かり事業 100万円			

商工費	土木費	消防費	教育費
観光物産魅力発信事業 100万円	幹線道路等整備事業(避難路・主要町道整備) 5億1,300万円	消防ポンプ積載車更新事業 900万円	旧中浜小学校震災遺構保存・整備事業 3,500万円
	住宅再建支援事業 4億3,000万円		【新規】町民グラウンド整備事業 2,800万円
	【新規】町営住宅長寿命化計画策定事業 800万円		(拡充) 被災児童生徒就学支援臨時特例交付金事業 2,300万円
			(拡充) 外国語指導助手配置事業 900万円
			(拡充) 就学援助事業 900万円

## 用語解説(歳出性質別)

**人件費** 職員などに対して支払われる給料や手当など  
**公債費** 町が発行した町債について毎年支払うことになる元金と利子  
**扶助費** 医療費助成費や見舞金など生活支援などの福祉にかかる経費  
**普通建設事業費** 交流拠点施設の整備に係る経費や道路などの災害復旧に要する経費

**補助費** 巨理地区行政事務組合などへの負担金や各種団体への補助金  
**物件費** 町が仕事を委託する場合の委託料や物品購入費など  
**繰出金** 一般会計から特別会計に支出されるお金  
**その他** 維持補修費や貸付金、積立金など

## 歳入の解説

総額は、103億1,900万円となり、前年度と比較し30億4,600万円減(22.8%減)となっています。主な歳入の内訳として、町税については、雑損失の繰越控除が終了したことによる個人町民税の増加を見込んでいます。また、新市街地などの新增築家屋の軽減措置が段階的に終了することや太陽光発電設備新規設置による固定資産税の増加が見込まれることから町税全体では、7,700万円増(7.1%増)となっています。国県支出金については、復興事業の進捗により、仮設住宅の解体費用に係る災害救助費負担金が減となったほか、避難路整備などに係る社会資本整備総合交付金が減となったことにより計2億8,000万円減(19.4%減)、防災拠点・地域交流センター建設事業などの震災復興交付金事業に係る基金からの繰入金が見込まれることから町税全体では、7,700万円増(7.1%増)となっています。国県支出金については、復興事業の進捗により、仮設住宅の解体費用に係る災害救助費負担金が減となったほか、避難路整備などに係る社会資本整備総合交付金が減となったことにより計2億8,000万円減(19.4%減)、防災拠点・地域交流センター建設事業などの震災復興交付金事業に係る基金からの繰入金が見込まれることから町税全体では、7,700万円増(7.1%増)となっています。また、震災復興特別交付税が26億2,400万円減(56.4%減)、震災復興特別交付税が含まれる地方交付税が6億8,100万円減(13.6%減)となっています。

### 普通会計予算

(単位：百万円)

会計名	H26	H27	H28	H29	H30	前年度比(%)
一般会計	20,080	30,284	21,371	13,365	10,319	△22.8
国民健康保険事業特別会計	1,942	2,164	2,103	2,098	1,895	△9.7
後期高齢者医療特別会計	164	166	162	166	169	1.8
介護保険事業特別会計	1,273	1,286	1,261	1,345	1,443	7.3

※平成26・30年度当初予算は、骨格予算として編成されています

### 水道事業会計予算額(公営企業会計)

(単位：百万円)

収益的収入および支出		資本的収入および支出	
収入	452	収入	46
支出	410	支出	177

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額131百万円は、損益勘定留保資金などで補てんします。

### 下水道事業会計予算額(公営企業会計)

(単位：百万円)

収益的収入および支出		資本的収入および支出	
収入	652	収入	432
支出	505	支出	676

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額244百万円は、損益勘定留保資金などで補てんします。

## 骨格予算と肉付け予算って何？

平成30年度当初予算は、4月に町長選挙が行われたため、人件費や管理経費などの義務的経費のほか、速やかな事業執行が不可欠な復興・創生関連事業に関する経費や住民生活に影響が大きい政策的経費に限定して計上する「骨格予算」を編成しました。

なお、上記以外の政策的経費や新規事業などは、あらためて補正予算として盛り込むこととし、この補正予算を「肉付け予算」といいます。

